

目標	評価項目	具体的な数値目標等	方策・手立て	評価	結果及び考察・改善策等	学校関係者	
						評価	コメント
思いやりいっぱい 学びいっぱい たくましさいっぱい	本年度の重点目標	思いやりいっぱい	・自己有用感 ・命を大切にする心 ・確かな日常モラル ・自ら考え行動できる力				
		学びいっぱい	・子どもが主役の学習 ・個別最適な学び ・協働的な学び ・確かな学力/基礎基本				
		たくましさいっぱい	・心身の健康 ・生活習慣の定着 ・安全意識の向上 ・粘り強さ				
思いやりいっぱい 学びいっぱい たくましさいっぱい	自己有用感 人権教育の推進 (教務・人権担当)	○学校・学級が楽しい80%	○人権教育の推進 ○学級経営の充実 ・人権集会の充実(講師招聘・体験型の実施) ・学校経営についての職員の相互理解と教育力向上の場の設定 ・教育相談の充実 ・教師間の報・連・相の徹底	3.0	○職員間で学級の様子を定期的に共有し、全職員で共通理解のもと指導を行った結果、「学校が楽しい」と感じている児童が多く見られた。 ○人権集会において体験的な活動を取り入れ、児童の人権意識の向上を図ることができた。	3.0	・視覚的な活動は、特に低学年にとっては有効であり、よい取組である。
	命を大切に する心 命を大切に する教育の 推進 (道徳担当)	○相手を思いやり、命の大切さを感じている児童100%	○命を大切に する教育の 推進 ・参観日での 授業の実施 ・道徳の授業 や栽培活動の 充実	2.6	○日常的な全職員による指導により、相手を思いやる言動が増加している。 ○参観日における命をテーマにした授業は、家庭と共に考える有意義な機会となった。 ●命の大切さについて、継続的・計画的に学ぶ場の設定が必要である(参観日に道徳の授業を行う)。	3.0	・上級生が下級生を思いやる気持ちが学校全体に広がってきている。今後も継続した指導が望まれる。
	確かな 日常モラル (生徒指導部)	○元気なあいさつができて90% ○無言の場のきまりが守れている90%	○時と場に 応じた行動の 指導「元気の あいさつ：「5 つの無言の場 」 ・学期初めの 学校のきまり の共通理解と 指導 ・集会での呼 びかけ	2.2	○運営委員会の取組により、あいさつについては一定の改善が見られた。 ●あいさつや無言の場のきまりについて、目標達成には至っていない。 ●全職員による共通した指導の徹底と、児童主体の取組の充実が必要である。	2.4	・運営委員会の児童が挨拶カードを配付するなどの手立ては非常に有効だと思う。今後も確かな日常モラルの指導を行って欲しい。
	自ら考え 行動できる 力 (教務部) (生徒指導部) (学習部) (保健体育部)	○行事等で自主的に考え判断できている。90%	○行事等にお ける自主的な 活動 ・自ら判断し 、行動できる ような場の 設定と振り返 りの実施	2.2	○行事等を通して、自ら考えて行動する児童が徐々に増えてきている。 ●学級活動や委員会活動、学校行事において、児童が主体的に判断し行動する経験をさらに充実させる必要がある(例えば、全校集会の内容を委員会が考え交代で進めていくや運動会実行委員のような役割を児童がもっと経験できるなど)。	2.5	・今後も児童の発達段階を考慮して、自主的な活動を促して欲しい。

本年度の 重点目標		ゆめいっぱい 学びいっぱい たくましさいっぱい	思いやりいっぱい	・ 自己有用感 ・ 命を大切にする心 ・ 確かな日常モラル ・ 自ら考え行動できる力			
			学びいっぱい	・ 子どもが主役の学習 ・ 個別最適な学び ・ 協働的な学び ・ 確かな学力/基礎基本			
			たくましさいっぱい	・ 心身の健康 ・ 生活習慣の定着 ・ 安全意識の向上 ・ 粘り強さ			
目標	評価 項目	具体的な 数値目標等	方策・手立て	評価	結果及び考察・改善策等	学校関係者	
						評価	コメント
ねらい の 達成 状況	子どもが主役の学習 (学習指導部) (学力向上担当)	○児童が進んで取り組む授業90% ○授業が分かったできたの実感90%	○「ひなたの学び」の視点による授業づくり(児童が主役となる授業) ・職員研修(主題研)の充実 ・分かった、できたを実感できる場の設定	2.8	○職員研修を通して、児童が主体となる授業づくりを進めることができた。 ○「分かった」「できた」と実感できる場面が増加している。 ●学習の達成感をより多くの授業で実感できるよう、場の設定や指導方法のさらなる工夫が必要である。	3.0	
	個別最適な学び (学習指導部) (情報担当)	○授業での効果的なICTの活用80%	○一人一人の学習効果を高め、主体的学習を促すためのICT機器活用推進 ・効果的なICT活用の工夫 ・教師のICT活用スキルの向上 ・多様な学びを生み出す場の工夫	3.0	○ICT機器の活用が全学級で定着し、児童一人一人に応じた学習の充実が図られた。 ●ICTの活用が学習効果の向上につながるように目的を明確にした活用の継続が必要である。	2.8	・ICT活用は避けて通れないため、目的をもった活用が必要である。
	協働的な学び (研究主任) (学力向上担当)	○協働的な学びの場の設定90%	○「ひなたの学び」の視点による授業づくり(なかまと) ・職員研修(主題研)の充実 ・充実した話し合いの工夫	3.1	○計画的な研究授業や研修を通して、協働的な学びの質が向上した。 ○話し合い活動が充実し、児童の思考を深める授業づくりが進んでいる。 ●協働的な学びの成果を各教科でさらに広げていく必要がある。	3.1	・今後は、児童自ら考え発言する力が重要になってくるため、協働的な学びの場の設定を積極的に取り入れて欲しい。
	確かな学力/基礎基本 (学習指導部)	○学習のきまりがしっかり守れている。90% ○知識・理解の定着90%	○読み・書き・計算の繰り返しの指導と見届け ・学習のきまりの定着と学習環境の整備 ・少人数の良さを生かした指導 ・ドリル型アプリの効果的な活用	2.5	○繰り返し学習や少人数指導を通して、基礎・基本の定着に向けた取組を進めることができた。 ●学習のきまりの定着や学習環境の整備について、継続的な指導が必要である。 ●学力定着に向けた指導の工夫について、教員間での共有をさらに進める必要がある。	2.5	

本年度の 重点目標		ゆめいっぱい 学びいっぱい たくましさいっぱい	思いやりいっぱい		学びいっぱい		たくましさいっぱい	
			・自己肯定感 ・命を大切に作る心 ・確かな日常モラル ・自ら考え行動できる力		・子どもが主役の学習 ・個別最適な学び ・協働的な学び ・確かな学力/基礎基本		・心身の健康 ・生活習慣の定着 ・安全意識の向上 ・粘り強さ	
			目標	評価 項目	具体的な 数値目標等	方策・手立て	評価	結果及び考察・改善策等
							評価	コメント
たくましさの育成	心身の健康 (生徒指導部) (保体部) (教務)	○メディアに関する家庭での約束の設定100%	○メディアの上手な使い方へ家庭と連携継続した取組 ・情報モラルを身に付けるための場の設定 ・PTA活動(家庭教育学級、学校保健委員会)及び保護者への取組の啓発	2.0	○学校保健委員会における講演は大変有意義であった。 ○家庭への情報発信および啓発は、機会を捉えて、継続的に実施できている。 ●一部の児童にメディアへの依存が見られ、生活リズムの乱れが課題である。今後は、保護者と連携し、メディア利用の在り方について協議するとともに、より効果的な指導方法を提案していく必要がある。 ●児童自身がメディアとの適切な関わり方を身に付けられるよう、学活等の時間を活用した指導の充実を図る必要がある。	2.2	・学校からの発信は継続しているが、家庭での指導が不十分に感じられる。次年度は、PTA 活動を通して具体的な提案を行う必要がある。 ・目標設定と定期的なアンケートによる改善サイクルの構築が望まれる。	
	生活習慣の定着 (生徒指導部) (保体部)	○早寝・早起き・朝御飯の実施80%	・正しい基本的な生活習慣を身に付けるための場の工夫 ・家庭と連携した取組	2.4	●メディア利用の影響による生活習慣の乱れが見られる。家庭におけるルール設定を徹底し、今後も家庭との連携を継続していく必要がある。	2.4		
	安全意識の向上 (生徒指導部) (保体部)	○非常時の約束や行動の仕方が分かる90%	○非常時への対応訓練など危機管理体制の確立 ・安全に生活する態度・能力の育成(交通安全教室、防災教室等の実施)	3.0	○日常的な職員の声掛けと指導により、危機管理が高まり、今年度は大きな事故や怪我等は発生していない。 ○今後も避難訓練等を継続し、命を大切に作る態度の育成に努めていく。	3.2	・次年度は、今年度の取組をさらに広げ、参加可能な地域の方も入れて、避難訓練を実施するとよいのではないかと。	
	粘り強さ (学習指導部) (保体部)	○最後まであきらめずに取り組める80%	○目標設定と振り返りの習慣化 ○成功体験を積ませるための工夫 ・少し努力すれば達成できる課題の設定 ・挑戦する場の設定	3.2	○様々な行事を通して、児童に成功体験を積ませることができた。 ○持久走練習期間においても、児童の粘り強い取組が見られ、目標達成に向けた手立てが有効であった。 ●日々の授業において「目標設定→振り返り」を意識的に取り入れる機会を増やし、達成感を味わわせる指導の充実が必要である。	3.3	・地域の多様な大人の話を聞く機会や目標設定の充実により、児童が最後まで粘り強く努力する姿が見られるようになることを期待する。	

